

又 議会だより

No. 75

令和元年 8月

のせ



野間の大けやきに営巣するアオバズク

議会新体制でスタート 災害復旧関連予算を可決

令和元年能勢町議会5月会議報告

5月会議には、報告3件、選任同意1件の合計4件が提出され、全員賛成により同意されました。
また、正副議長の選挙をはじめ、議会の構成が変更されました（議会構成表はP8に掲載）。
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇ 正副議長の選挙

投票による選挙が行われ、新正副議長が選出されました。

議 長 長尾 義和
副 議 長 長尾 義信

◇ 監査委員の選任につき同意を求めることについて

監査委員 岡本 ひとし

◇ 平成30年度能勢町一般会計補正予算(第11号)

補正額 1億3000万円

(主なもの)

・財政調整基金積立金	1億2000万円
・職員退職手当基金積立金	1000万円

令和元年能勢町議会6月定例会議報告

6月定例会議には、報告1件、条例4件、補正予算3件の合計8件が提出されました。
賛否が分かれた案件は1件で、その他の案件は、全員賛成により可決されました。
また、猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員1人の補欠選挙が行われました。
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇ 能勢町税条例の一部を改正する条例について

大阪府税条例等の一部改正により、環境性能割の課税免除規定について整備するもので、大阪府知事が自動車税（環境性能割）を課税免除する自動車と同等の軽自動車についても軽自動車税（環境性能割）を課税免除とするもの。

◇ 能勢町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する政令の公布に伴い、卒園後の受け皿の提供を行う連携施設の確保が著しく困難であると市町村長が認めた時は、連携施設の確保を不要とすることができる期間を5年から10年に延長することとするもの。

◇ 能勢町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

放課後児童支援員の要件については、知事が行う研修を修了した者となっていたものを、指定都市の長が行う研修を修了した者も追加とするもの。

◇能勢町介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険法施行令の一部改正により改正するもので、消費税率引き上げに伴う低所得者層の軽減強化を図るための改正を行うもの。

◇令和元年度能勢町一般会計補正予算(第1号)

賛 否											原案可決
西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	長尾 義和
○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長

注:議長は採決に加わりません。

補正額 8583万円

(主なもの)

・公共施設災害復旧工事費	(旧東郷小学校運動場法面復旧工事)	4600万円
・プレミアム付商品券発行委託料	(事業内容の確定による増額)	591万円
・財産管理費	(旧西中学校校舎裏擁壁補修工事)	950万円
・公共施設再編整備事業費	(旧東郷保育所〔さとおか会館〕解体実施設計費等)	850万円
・耕作推進支援事業補助金	(能勢けやきの里レジシステム整備および 吉野機械共同組合の農業機械)	255万円
・農業災害復旧費	(土地改良区が実施する事業への補助金)	374万円

◇猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員1人の補欠選挙

猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会

議員 森田 則子



旧東郷小学校運動場法面崩落現場



旧西中学校校舎裏擁壁崩落現場

一

般

質

問



Q & A

町民の「声」を代表して
7人が質問

一般質問

問 発注済の工事はいつ頃終わる予定か。
答 阪井峠以外は9月頃終わる予定をしている。

災害復旧工事進ちょく状況(箇所)

	道路	河川
工事済	115	26
工事発注済	28	67
未契約	24	65
合計	167	158

問 長雨の時期に入り昨年の災害被害で未復旧の箇所は、二次被害が心配される。復旧工事の進ちょく状況を問う。
答 復旧箇所が12月に報告した時より増えている。

災害への対応



伊木 真由子

一、災害への対応 二、放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの利用が年々増えている要因について問う。

放課後児童クラブ

問 未契約の道路24か所河川65か所の復旧はいつ頃終わる予定か。
答 今年度中には完了したいと考える。
問 なぜこの時期までに復旧工事が終わらなかったのか。
答 予算の確保やそれぞれの工事の詳細設計に時間がかかった。
問 復旧工事の進ちょく状況が、住民にはわかりづらい。もっとわかりやすくすべきではないか。
答 住民への情報発信の方法については、今後検討する。

問 家庭における子どもの居場所が、時代の背景とともに変化してきているからと考える。
問 保育所は土曜日も受け入れを行っているが放課後児童クラブは行っていない。開所してほしいという声を聞くが、考えを問う。
答 克服すべき課題が多くあり、実現に至っていない。
これまで行っていることをしっかりとやり、課題を順次克服しながら、土曜日開設につなげていきたいと考える。





岡本 ひとし

一、能勢町第4次 地域福祉計画の策定 二、人権教育の取組状況

第3次地域福祉計画の
課題を4次計画へ

問 第3次計画の評価と課題の認識を問う。

答 地域福祉計画推進委員へ計画の進ちよく状況や取組状況を議論していただいております、おおむね順調に推移していると認識している。

問 第4次計画に向けた新たな課題を問う。

答 新たな社会現象も起きており、地域福祉社会全体でどのように取り組むかを、第4次計画に取り入れる。



問 改正福祉法では、新たに規定された地域課題は福祉サービスが必要とする地域・住民が抱える課題や保健・医療・住まい・就労・教育・孤立・人権等に関する課題と言われているが、既存制度では解決困難であり、専門的支援が可能な地域包括支援センターの重要性を問う。

答 行政・能勢町社会福祉協議会・医療機関・社会福祉施設・CSW等の関係者と連携が重要であり、早期発見、適切な支援につなげていくことに努めていく。

地域の実情を踏まえた
人権教育の推進

問 人権教育担当教員の研修内容や地域との結びつきが希薄な職員もいることは否定できないのではないかと。

答 学校・府・地区・町の担当者が連携し、よりよい実践に向けて協議している。

問 分野横断的なネットワーク機能が必要であり、組織の再構築が必要ではないかと問う。

答 我が事・丸ごと、地域全体で包括的な取組みに傾注していく。



一般質問



平田 要

一、放課後児童クラブの運営 二、木の駅プロジェクト事業

放課後児童クラブの運営

問 夏休み期間等のスクールバスの有効活用の視点から、クラブ活動便を教育委員会と福祉課が連携して利用できるようにしてはどうか。

答 通常便とクラブ便、便数も違う。無理のないような調整の中で実現可能であれば、保護者会とも調整を含めて検討していきたい。

問 東地域の公共施設集約化において放課後児童クラブの整備を考案するとしているが、現在の基本計画に示されている内容と異なる点がある。

答 子どもが遊びを通して友達と過ごす時間は大事である。これからも様々な検討しながら増やしていきたい。

木の駅プロジェクト事業

問 現在開設している児童クラブにおいても土曜日の開設の新たなニーズもあり、箇所を増やすのか、開設しているところを充実するのか検討を進めている。

答 本町は自治体による新電力事業をめざし、9月にドイツのシュタットベルケ方式（自治体所有の公益企業）を先進視察される。木の駅プロジェクト事業で出荷される木材もバイオマス発電の一つとして位置づけ、取組みにつなげていくことについて問う。

問 子どもが安全に過ごせる場として放課後の学校が一番と捉えられる。放課後児童クラブ、アフタースクール以外に検討できないか。

答 新電力の再生エネルギーの一つとして約8千haの山林を持つ本町として大きな森林資源と思う。木質バイオマス、太陽光、小水力などを含めて検討すべきと考える。





森田 則子

安心安全対策

問 大阪北部地震から一年が経つ。前回質問した地震災害の自助意識を高めるための起震車の導入の検討状況は。

答 今年3市2町合同の防災訓練を能勢町が担当する。11月開催予定で、豊中市消防局から借りて行う予定にしている。

問 幅広い世代に体験してもらうために、小中学生も一緒に体験するのは可能か。

答 体験することが可能かどうか、今後調整する。

問 通学時を含めて全国で、事件事故が相次いでいる。防犯カメラが解明につながり、抑止力にもなると思うが、子どもの安全を守るための防犯カメラの設置を増やしてはどうか。

一、安心安全なまちづくり 二、公共施設再編整備状況の 住民への広報活動

答 現在、幹線道路を中心に、町内20か所に設置している。通学路の交差点の信号機に設置できるように、警察等と協議し設置許可が、下りるようお願いしてきた。

障がい者手帳等の カード化推進

問 厚労省は4月にカード化の省令を改正した。

これにより持ち運びや提示などの利便性が向上すると思われるが、本町の取組みを問う。

答 過日、説明会が実施された。今後カード化のメリット・デメリットの状況を踏まえ、検討する。

公共施設再編整備

問 公共施設の今後について、住民意識調査で87.3%が、興味があると

回答している。

再編整備の進ちよくについて「広報のせ」に毎回折り込みを入れるなど、住民へ情報公開を徹底してはどうか。

答 事業の進ちよくに合わせて可能な限り頻繁に載せ、広報の紙面で足らなければ工夫していく。



新庁舎イメージ図

一般質問



西河 巧

農業の現状と 今後の展望

問 本町における農業の現状と、今後の展望について、また、農家の高齢化や後継者不足の実態を踏まえ、今後の農業人口の増加に向けた取組みについて問う。

答 農業従事者の高齢化や後継者不足は顕著であり、営農の継続が困難となる農家は、今後ますます増加する。

農業人口の増加に向けて、新規就農や担い手への支援、農家の意向を踏まえつつ、農地における高度産業化を促進し、地域住民の雇用の場を創出するなど、新たな土地利用を検討する。

農業振興と町の 活性化について

問 農業資源を活用した地域活性化について問う。

答 農業者等が6次産業化に取り組む際の支援目的として、平成30年に農業委員会、JA、商工会等と具体化について協議を進めている。



問 農業振興を進める上で、獣害対策が重要であると思うが、本町の取組みについて問う。

答 獣害対策については、通常の緊急捕獲に加え、昨年度導入したセンサーゲートカメラ付き大型おりを導入し、猟友会能勢支部のご協力のもと、5月より使用を開始し、現在山辺地区、吉野地区の2か所で実験をしている。



大平 喜代江

公共施設再編整備事業

問 本事業を担う組織体制について問う。

答 旧3小学校の再編整備事業は、昨年10月より総務課に施設再編担当職員を配置、新消防庁舎整備事業は自治防災課が担当している。



問 職員の新庁舎への意見反映について問う。

答 公共施設再編検討委員会において職員の職場環境の改善や来庁者の利便性などを考慮し、可能な限り職員の意見を実施設計に反映している。

一、公共施設再編整備事業 二、本町の道路の維持・修繕

問 本庁舎、南館、別館の撤去費用、植栽工事、駐車場等の整備費用について問う。

答 本庁舎、南館、別館の撤去後、跡地活用を検討を行い、整備内容が確定した段階で概算事業費を示したい。

本町の道路の維持・修繕

問 本町が管理する町道の現状と課題について問う。

答 本町は、一級町道13路線、二級町道17路線、三級町道299路線あり、総延長約22.1kmの町道を管理している。

道路の管理延長は長く、施設の老朽化から維持修繕費用がかさむ等の課題があるが、住民生活に支障がないよう取り組む。



問 生活道路の安全対策について問う。

答 町道は地域からの要望等により転落防止柵や道路反射鏡等を設置している。

通学路は、能勢町通学路安全推進会議で池田土木事務所、豊能警察署、教育委員会および地域整備課が協議し対策を進めている。また、舗装の損傷箇所や倒木への対応は、できるだけ早急に対処し、安全に利用できるよう取り組みんでいる。

一般質問



中西 顕治



幼児教育の無償化とは

問 無償化の対象になる子どもの数は。

答 保育所では、64名のうち56名、幼稚園では、町内在住69名のうち65名が対象となる。

認可外保育所では対象者はいない。

問 給食費の取扱いは国の指針に従うのか。

答 現在制度では保育所は主食費、副食費を含めて保育料を徴収している。幼稚園では給食費は保育料とは別に徴収している。

無償化後は国の基準では、主食費が3000円、副食費が4500円であり、原則的には国が示すとおりに食材料費を別途徴収する方向で進みたい。

問 無償化施策の結果、実質値上げになる子どもが出てくるのではないか。



問 そのような事例が発生することがないように、従前よりも負担増にならない制度設計を求める。

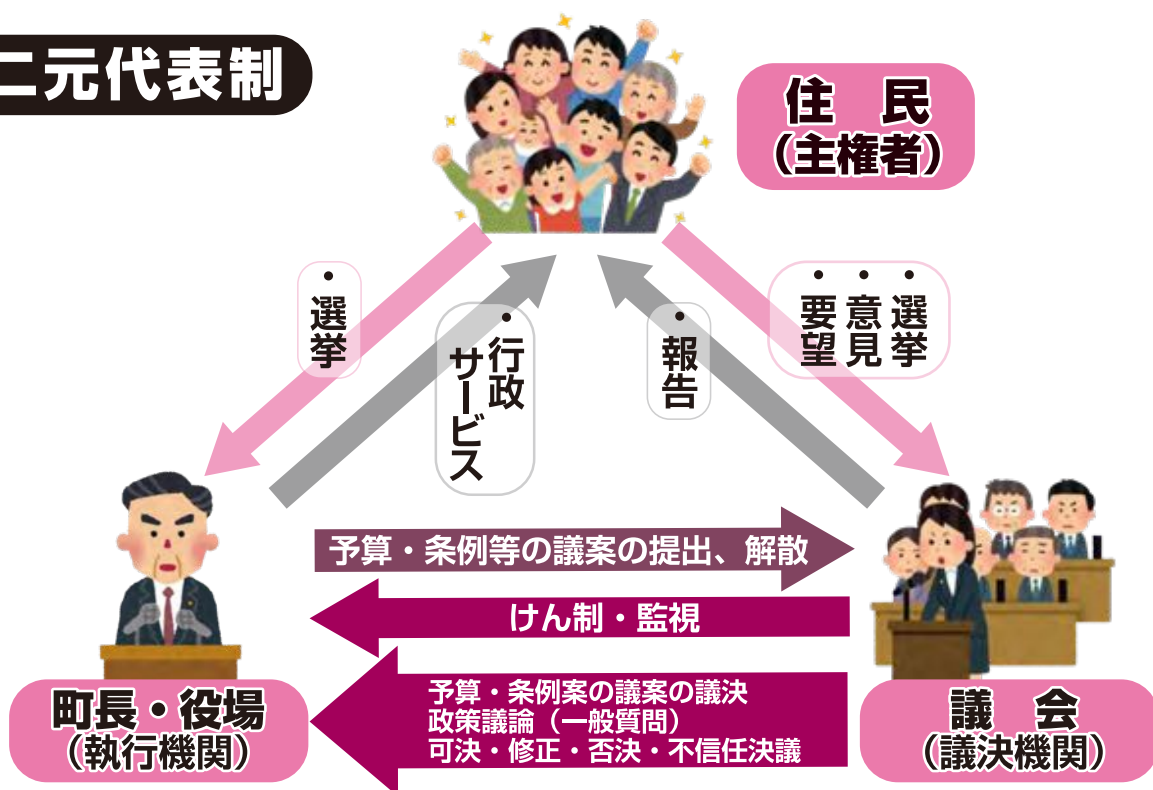
答 本町としても、無償化の趣旨を踏まえて、きちんと整理する。

能勢町議会構成表

議 長		長 尾 義 和	副 議 長	長 尾 義 信
常任委員会	総務民生 6人	◎大平 喜代江 大西 則宏	○伊木 真由子 中西 顕治	西河 巧 中植 昭彦
	環境教育 6人	◎平田 要 長尾 義信	○奥 久明 岡本 ひとし	森田 則子 長尾 義和
議会運営委員会 5人		◎西河 巧 平田 要	○中西 顕治 大西 則宏	大平 喜代江
広報特別委員会 5人		◎奥 久明 平田 要	○伊木 真由子 中植 昭彦	大平 喜代江
監 査 委 員		岡本 ひとし		
豊能郡環境施設組合 議会議員 5人		西河 巧 岡本 ひとし	大西 則宏 長尾 義和	中西 顕治
猪名川上流広域ごみ処理 施設組合議会議員 3人		森田 則子	大平 喜代江	平田 要

◎:委員長 ○:副委員長 ※委員は議席順

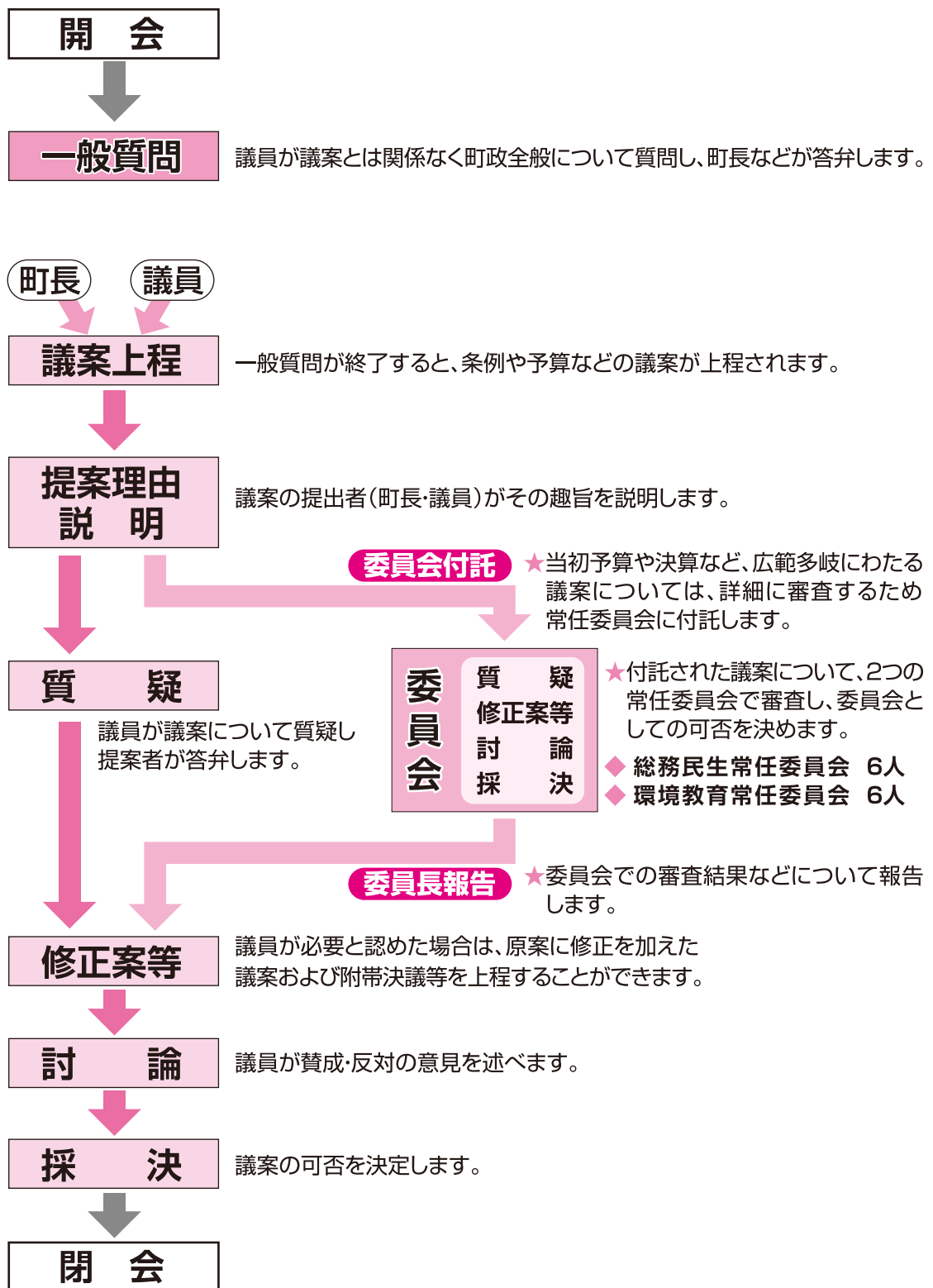
二元代表制



二元代表制：住民が町長と議員を直接選挙で選ぶ制度
執行機関：住民の福祉やまちづくりを実行する組織
議決機関：住民代表である議員が集まって意志決定する組織
行政サービス：福祉・教育・環境・まちづくり等

定例会議の流れ

本 会 議



【本会議】 全議員で構成される会議で、議案の可否を最終的に決定します。定数の半数以上の議員の出席がないと会議を開くことができません。また、議会の意思は原則として出席議員の過半数で決定します。

【委員会】 常任委員会に付託された議案等を詳細に審査します。能勢町議会には行政の各部門に応じてそれぞれを担当する2つの常任委員会があり、議員はいずれか1つの常任委員会に所属します。

住民の生命、財産をまもる消防団

消防団のみなさまには、消防、水防、行方不明者捜索など、献身的な活動を頂いており、また、技能向上を目的に小型ポンプ操法・防災・水防・規律訓練等、積極的に取り組まれています。

本年度からポンプ操法大会は、班単位から分団での出動となり、第6分団（上山辺班・東山辺班・天王班）が訓練を行われており、激励にお伺いいたしました。



操法大会に向けて訓練

活動に対し、敬意と感謝を表します。
議会といたしましても、活動への協力と、活動環境の整備に、最大限力を尽くしてまいります。



水防訓練（土のうづくり）

■ ポンプ操法大会日程 ■

- 8月4日 支部総合訓練大会
会場：能勢ささゆり学園（9時開会）
- 9月1日 大阪府消防大会
会場：大阪府消防学校（9時開会）

表紙のことば

野間の大けやきは樹齢1000年以上といわれ、国の天然記念物にも指定されている能勢町のシンボルツリーです。

その大けやきに毎年アオバスクがやってきます。アオバスクは5月に東南アジアから渡ってきて大けやきの樹洞で営巣します。1回に2〜5個の卵を産み、7月の下旬に雛が巣から出てきます。その間、オスは巢の近くで見守り、夜間にセミなどの昆虫や小型の哺乳類を捕ってきて、メスや雛に餌を与えます。巣から出てきた雛は1週間ほどで、けやきから巣立ち、秋に東南アジアに渡っていきます。

文：けやき資料館

編集後記

いよいよ炎暑の旺季をむかえますが、みなさま元気にお過ごしでしょうか。

時節柄、くれぐれもご自愛ください。

議会構成が変わり、広報特別委員会も新メンバーとなりました。前回からの広報特別委員会の流れも踏まえつつ、住民のみなさまに議会の内容や活動をより分かりやすくお伝えできるように創意工夫を重ね紙面の充実に努めてまいります。

広報特別委員会

委員長 奥 久明
副委員長 伊木真由子

大平喜代江
平田 要
中植 昭彦

発行／能勢町議会

発行責任者／長尾 義和 編集／広報特別委員会 発行日／令和元年8月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>